

教職大学院と学校現場の連携・協働による教員養成のためのプラットフォーム
（基盤）の形成

1. 概要

『実習』を核として、「教職大学院の高度化・実質化に関する研究」「学生の質保証・リメディアル教育プログラムの実施」「学校現場との一層の連携」の各取組を展開させ、教育委員会や学校現場等との連携・協働によるプラットフォーム（基盤）を形成し、教職大学院の高度化・実質化を図る。

なお、本事業の実施にあたっては、実施母体となる「教育実践コラボレーションセンター」を発展的に解消し、新たに「教職大学院研究・連携推進センター」を設置した。そして、同センターに「研究開発部門」及び「教育実践コラボレーション部門」の2部門を置き、体制を整備の上、本事業を効果的かつ機能的に実施した。

【平成22年度の取組】

(1) 教職大学院の高度化・実質化に関する研究開発と試行

- ① 学校現場等との協働により、学校現場が抱える課題に対応した教職大学院のモデル教材（『学校組織マネジメントの実践演習A』）を開発・作成した。
- ② 教職大学院の教育課程と授業の評価を総合的・計画的に行い、効果的な改善に結びつけるため、年間の教育課程・授業評価の実施に係るプランニングを策定した。また、前後期評価実施要領を作成したうえで評価を実施し、前後期教育課程・授業評価報告書を作成し、試行した。

(2) リメディアル教育プログラムの実施

リメディアル教育プログラムとして教育実践セミナーを開発・実施し、学校現場における実践力や応用力を向上させるための修学上の支援を行った。

(3) 修了生の継続的支援方策の研究検討

- ① 修了生の勤務校を訪問し、本人及び学校長等と面談を行い、修了生が感じている教育研究課題や教職大学院教育における課題等について必要に応じ実践的な助言・提言等を行う方策を検討するための資料を収集した。
- ② eポートフォリオを活用し、オンラインによる発展的学習コンテンツ（大学の講義、講演、研修会等のリソース）や教育実践資料（指導案、教材等）の蓄積・配信、授業研究や情報交換の場の設定等、継続的な学習機会を提供できるようカスタマイズした。

(4) 修了生の教育研究活動への参加・協力方法の検討

教職大学院が行う教育研究活動（講演会やワークショップ）に修了生が参加できる仕組みを構築し、修了生の実践的研究能力向上と教育研究活動の高度化を図った。

(5) 連携協力校との実習を中心としたコーディネート活動

教育委員会、連携協力校と協働し、実習校とのマッチングなど、実習をより円滑かつ効果的に行えるようコーディネートした。

(6) 連携協力校・教育委員会等との連携による今日的な教育課題についての共同研究

- ① 連携協力校連絡協議会、大学と教育現場の協働的教師教育プログラム推進協議会を開催し、実習に関する説明・報告、連携協力校や教育委員会等からの要望等の取りま

とめを行った。

- ② 今日的な課題を解決し、実践において活用できるプログラムを開発するため、兵庫県立教育研修所、神戸市総合教育センター、伊丹市教育委員会及び加東市教育委員会との連携による実践的な共同研究に着手した。

【平成23年度の取組】

(1) 教職大学院の高度化・実質化に関する研究の実施

- ① 他の教職大学院においても汎用性の高いと思われる「共通基礎科目」（例：学校組織マネジメント等）を対象とした授業事例の収集を行うとともに、「実地研究(実習)」教材の研究開発に着手した。
- ② 昨年度に開発した「教育課程・授業評価システム」を実施・検証し、必要に応じて改善を行った。

(2) リメディアル教育プログラムの実施

実践力・応用力の向上を重視し、「教職サポート」「実習サポート」「教採サポート」の3つのカリキュラムで構成する「教育実践セミナー」の内容の充実・改善を図った。

(3) 修了生の継続的支援方策の実施

- ① 修了生の教育研究活動を支援するため、学校訪問等により修了生、学校長等と面談し、修了生が抱えている教育研究課題や教職大学院教育における成果・課題等について聞き取りを行った。
- ② eポートフォリオを活用し、オンラインによる発展的学習コンテンツ（大学の講義、講演、研修会等のリソース）や教育実践情報（指導案、教材等）の蓄積・配信、授業研究や情報交換の場の設定等、継続的な学習機会を提供した。

(4) 修了生の教育研究活動への参加・協力方法の実施

修了生の実践的指導力、授業力、研究能力等の向上と高度化を図るため、修了生が教職大学院や教職大学院研究・連携推進センターが行う教育研究活動（授業、ワークショップ、セミナー等）に参加できる機会を提供した。

(5) 連携協力校との実習を中心としたコーディネート活動の実施

- ① 連携協力校や所管する教育委員会等と連絡を密にし、より一層の連携を推進した。
- ② 連携協力校連絡協議会、大学と教育現場の協働的教師教育プログラム推進協議会を開催し、実習に関する説明・報告、連携協力校や教育委員会等からの要望等の取りまとめを行った。
- ③ 実習生と実習校とのマッチング、実習生に対する事前指導及び実習校訪問による校長・メンターからの実習状況等についての聞き取りを行い、実習に関する課題・問題点等の把握、取りまとめを行った。

(6) 連携協力校・教育委員会等との連携による今日的な教育課題についての共同研究の実施（連携協力校等との共同研究の実践報告会の開催）

連携協力校や教育委員会が抱える今日的な教育研究課題について共同研究を実施し、終了した共同研究について発表会を開催した。

【平成24年度の取組】

(1) 教職大学院の高度化・実質化に関する研究の実施

- ① 教職大学院のモデル教材の研究開発に取り組んだ結果、『特色あるカリキュラムづくりの理論と実際』、『授業での学習支援と指導法に関する事例分析』を作成し、全国の教職大学院に配付した。また、効果的な実地研究の推進を図るため、『実地研究(実習)指導の手引き』、『教育実践課題研究抄録<選>』を研究開発し、作成した。

- ② 「教育課程・授業評価システム」の検証・改善に取り組んだ結果、3年間の経年比較可能な評価システムを完成し、同システムによる平成24年度前期・後期の評価を実施した。
- ③ 平成25年3月21日、これまでの取組についての成果と課題を発表するため、事業報告会を開催した。
- (2) **リメディアル教育プログラムの実施**
昨年度に引き続き改善・充実した「教育実践セミナー」を実施するとともに、一層の内容の充実・改善を図った。
- (3) **修了生の継続的支援方策の実施**
 - ① 修了生の教育研究活動を支援するため、学校訪問等により修了生、学校長等と面談し、修了生が抱えている教育研究課題や教職大学院教育における成果・課題等について聞き取りを行った。
 - ② eポートフォリオを活用し、オンラインによる発展的学習コンテンツ（大学の講義、講演、研修会等のリソース）や教育実践情報（指導案、教材等）の蓄積・配信、授業研究や情報交換の場の設定等、継続的な学習機会を提供した。
- (4) **修了生の教育研究活動への参加・協力方法の実施**
修了生の実践的指導力、授業力、研究能力等の向上と高度化を図るため、修了生が教職大学院や教職大学院研究・連携推進センターが行う教育研究活動（授業、ワークショップ、セミナー等）に参加できるよう、当該活動を休日に設定する等工夫し、機会拡大を図った。
- (5) **連携協力校との実習を中心としたコーディネート活動の実施**
 - ① 平成25年3月9日、連携協力校連絡協議会を開催し、連携協力校や所管する教育委員会等との連携強化を図るとともに、学校現場での実習の成果と課題等について協議を行った。
 - ② 実習生と実習校とのマッチング、実習生に対する事前指導及び実習校訪問による校長・メンターからの実習状況等についての聞き取りを行い、実習に関する課題・問題点等の把握、取りまとめを行った。
- (6) **連携協力校・教育委員会等との連携による今日的な教育課題についての共同研究の実施**
兵庫県立教育研修所、伊丹市教育委員会及び加東市教育委員会と共同研究を行い、報告会等を通じて、その成果を連携協力校及び教職大学院に還元した。
- (7) **次年度以降の事業計画の策定**
平成25年度以降においても、「教職大学院研究・連携推進センター」の運営・充実に学内資源により進めることとした。

2. 改善効果

本事業は、教職大学院をはじめ全国の教員養成系大学院における参考モデルを提供するものであり、学生の質保証体制の確立、高度な実践的能力のある教員養成の実質化に大きく貢献するものである。

また、学校現場等との連携促進は、大学・大学院における教員養成と現場での実際上の課題を直結するもので、理論的研究にとどまらず教育現場で活用できる実践的研究の活発化を促すものである。

教職大学院制度の成否は我が国の学校教育改革の鍵となるものであり、このための多様な観点からの教育研究及び実践の成果を発信できる。